

【柏市交通政策審議会への報告事項】

令和2年度第1回地域公共交通部会での協議内容について（報告）

1 開催日時

令和2年7月30日（木） 午後3時5分から午後4時30分

2 場所

沼南庁舎5階 大会議室

3 議事要旨

議題1 公共交通空白不便地域の対応について

(1) 公共交通空白不便地域カルテ

市内の公共交通空白不便地域ごとに、位置、地区概況、路線バスや商業施設・医療施設の送迎バスの運行状況、商業施設・医療施設の立地状況、対応の視点等を整理した、「公共交通空白不便地域カルテ」を示した。

(2) 評価の流れ・進捗状況

各公共交通空白不便地域

- ↓
- ①各評価項目について、地域間を比較して点数化 ※実施済み
 - ②各評価項目の点数を合計 ※実施済み
 - ③合計点数が上位の地域にヒアリング ※実施中
 - ④ヒアリング結果を踏まえ、評価、検討 ※今後実施

新たな公共交通システムを導入する優先対応エリア決定

(3) 各公共交通空白不便地域の評価（点数化）

以下の評価項目・評点にて、各公共交通空白不便地域の評価を実施した。

- ①人口の状況：【指標①】人口密度
【指標②】65歳以上高齢者人口
【指標③】65歳以上人口の占める割合
- ②世帯の状況：【指標④】75歳以上のみ世帯人口
【指標⑤】75歳以上の独居世帯割合

全11地域の平均値以上かつ中央値以上の場合は3点、いずれか以上の場合は1点

- ③居住環境：【指標⑥】商業施設立地状況
【指標⑦】土地の高低差

各地域→商業施設が300m圏外であることを目安に1点、地域内の平均標高差が10m以上あることを目安に1点

(4) 評価の結果、評点の合計値が上位となったのは以下の4地域である。

- ①根戸、布施、宿連寺の各一部地域
- ②松ヶ崎の一部地域
- ③常盤台、永楽台、日立台、あかね町、ひばりが丘の各一部地域
- ④東山、西山の各一部地域

(5) 上位 4 地域へのヒアリング方法について

- ①各地域内の一部の町会を対象にアンケートを実施 ※実施済み
- ②各地域内の一部の町会役員、老人会などの地域の団体等にヒアリングを実施 ※今後実施

(6) 地域が主体となった公共交通の運行について

- ①地域の状況は地域の方が一番よく知っており、必要な人に必要な移動手段を確保することができる
- ②自分たちの交通手段という意識を持つことで、乗車率を高めることにつながる

(7) 委員からの主なご意見と市の対応

- ①新たな公共交通の運行計画や運営について、各地域の町会が担当するのか。
⇒地域と行政とで協議し、運営の適切な分担や運行計画について考えていく。
- ②試験運行についてどのように考えているか。
⇒実証実験を始める際は、ある程度の期間で利用者が少なければ運行をやめることを示してから始めるべきであると考えている。
- ③抽出された 4 地域以外において、本当に困っている人が沢山いる地域がある可能性があるため、よく確認する必要がある。
⇒公共交通空白不便地域である全 11 地域については、このうち 4 地域だけを対象にするということではなく、まず初めに 4 地域にヒアリングに入り、順を追って他の地域の対応を進めていくという考えである。

議題 2 予約型相乗りタクシー「カシワニクル」事業計画変更（案）について

(1) カシワニクルの運行区域を一部拡大する事業計画変更（案）について説明し、委員全員から承認を受けた。

(2) 委員からの主なご意見と市の対応

- ①拡大した地域においてカシワニクルの停留所を設定する際は、既存の路線バスと競合しないよう配慮をお願いしたい。
⇒停留所の設定の際には、事前に相談させていただければと考えている。
- ②カシワニクルの運行区域を拡大する経緯や理由を詳しく教えてほしい。
⇒今回カシワニクルの運行区域を拡大する地域にはかしわ乗合ジャンボタクシーの沼南コースが運行しているが、長大路線となっており、利用率の低い区間もあることから一部区間を廃止する予定である。ジャンボタクシー運行ルートの一部区間の廃止を進めるに当たっては、当該区間をカシワニクルでカバーし、地域の方の移動手段を確保した上でジャンボタクシーの運行ルートを廃止していくという段取りで進める考えである。

以 上